

平成29年秋の消防関係叙勲及び褒章伝達式 人命救助内閣総理大臣感謝状授与式

総務課

1 平成29年秋の消防関係叙勲及び褒章伝達式

【第29回危険業務従事者叙勲】

第29回危険業務従事者叙勲が11月3日付で発令され、全国の3,614名に授与されました。

そのうち、消防職員として危険性の高い業務に精励し、社会公共の福祉の増進に寄与された622名が受章し、伝達式を11月10日、11月13日の2回に分けて総務省講堂において開催しました。

なお、勲章別の受章者数は次のとおりです。

第29回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章	330名
瑞宝単光章	292名
合計	622名

【平成29年秋の叙勲】

平成29年秋の叙勲が11月3日付で発令され、全国の4,103名に授与されました。

そのうち、消防関係では永年にわたり国民の生命等を火災等の災害から防御し、消防力の充実強化に尽力された605名が受章し、11月14日、ニッショーホール（港区虎ノ門）において伝達式を開催しました。

なお、勲章別の受章者数は次のとおりです。

平成29年秋の叙勲

瑞宝小綬章	28名
旭日双光章	4名
瑞宝双光章	62名
瑞宝単光章	511名
合計	605名



奥野総務副大臣から受章者代表への勲記・勲章伝達
(危険業務従事者叙勲伝達式(1回目))



危険業務従事者叙勲伝達式(2回目)の様子



野田総務大臣による式辞(危険業務従事者叙勲伝達式(2回目))

平成29年秋の褒章が11月3日付で発令され、全国の797名に授与されました。

そのうち、消防関係では、自己の危難を顧みず人命救助に尽力された方々、消防機器の研究開発や製造販売業務、消防設備保守業務等に精励し、業界の発展に大きく寄与された方々、永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し消防の発展に大きく寄与された消防団員、計104名が受章し、11月15日、東京消防庁スクワール麹町（千代田区麹町）において伝達式を開催しました。

なお、褒章別の受章者数は次のとおりです。

平成29年秋褒章

紅綬褒章	4名
黄綬褒章	6名
藍綬褒章	94名
合計	104名

それぞれの伝達式では、伝達者（危険業務従事者叙勲伝達式（1回目）のみ奥野総務副大臣、その他は野田総務大臣）から受章者代表へ勲記及び勲章（章記及び褒章）が手渡されました。

受章者代表から「地域住民の安全確保のため、なお一層尽力します。」と誓いの言葉を含めた謝辞が述べられました。

式典後、受章者は皇居において天皇陛下に拝謁されました。



野田総務大臣から受章者代表への勲記・勲章伝達（秋の叙勲伝達式）



受章者代表謝辞を受ける野田総務大臣（秋の褒章伝達式）



野田総務大臣から受章者代表への勲記・勲章伝達（危険業務従事者叙勲伝達式（2回目））



小倉総務大臣政務官からの挨拶（秋の褒章伝達式）

2 人命救助内閣総理大臣感謝状授与式

今秋、自らの危険を顧みず人命救助に尽力した者に授与される「紅綬褒章」を受章した、山田太一郎氏、須藤寛之氏、山口勇造氏、石井政人氏に対し、11月16日（木）、安倍内閣総理大臣から感謝状が授与されました。

授与式は、総理大臣官邸において挙行政され、総理から、「偶然遭遇した事故現場において、とっさの判断で行動を起こすことはなかなかできることではありません。皆さんの勇気と行動力に心から敬意を表します。」と、それぞれの行動を称えとともに感謝の意が伝えられました。



挨拶を述べる安倍内閣総理大臣

受賞者の功績

【山田太一郎氏】

平成28年4月、東京都新宿区新小川町で発生した建物火災において、濃煙と熱気のある中、1階の火点室から居住者1名を救出されました。

【須藤寛之氏】

平成28年9月、宮崎県延岡市の多良田川において、身動きがとれなくなった男性1名を発見し、激しい風雨の中、河川を泳ぎ救出されました。

【山口勇造氏】

平成28年12月、東京都足立区舎人で発生した建物火災において、濃煙と熱気のある中、1階の火点室から居住者1名を救出されました。

【石井政人氏】

平成29年3月、秋田県秋田市の太平川右岸において、川に流され溺れていた児童1名を発見し、低水温の川に飛び込み救出されました。



記念写真（前列中央に安倍内閣総理大臣、前列左から山田氏、須藤氏、前列右から石井氏、山口氏）

問い合わせ先

消防庁総務課
TEL: 03-5253-7521（直通）